

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 557 号	氏名	大木美香
学 位 審 査 委 員	主 査 皆川昇 副 査 森田公一 副 査 濱野真二郎		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、デング熱流行対策として行われる殺虫剤噴霧の最適時期に関し、これまで広く引用されてきたニュートン&ライターモデルの欠点を補い、それに代わるより実態に即した数理モデルの開発を目的としており十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 適切な数理モデルの理論が用いられている。またニュートン&ライターモデルの欠点を補うために、季節、季節にともなう蚊の寿命及び集団免疫レベルの変化を考慮しながら、比較検討を行っており研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 季節性と集団免疫レベルを考慮することにより、より早い時期に殺虫剤噴霧を行うことで感染防御効果が増大することが理論的に示され、ニュートン&ライターモデルよりも優れたモデルとなった。考察も多方面から適切になされており、将来のデング熱対策においてこのモデルが広く参考にされると期待できる。また、媒介蚊対策に関するモデル開発の方向性を示したことで、この研究分野の進展に大いに貢献した。			
以上のように本論文はデング熱研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			